

この紙面はウェブ新聞webunでも
ご覧いただけます <http://webun.jp>

退引の里の勢稀

日本出身横綱不在に

在位12場所けがに泣き短命

大相撲の第72代横綱稀勢の里(32)＝本名萩原寛、茨城県出身、田子ノ浦部屋＝が大相撲初場所4日目の16日、現役を引退することが決まった。昨年11月の九州場所では横綱として87年ぶりに初日から4連敗(不戦敗を除く)を喫し、横綱審議委員会から初の「激励」を決議された。進退が懸かった

今場所も初日から3連敗と不振で、昨年9月の秋場所千秋楽から不戦敗を除いて8連敗。1場所15日制が定着した1949年夏場所以降では貴乃花を抜いて横綱の単独ワースト記録となった。横綱在位12場所は昭和以降10番目の短さ。日本出身の最高位が不在となる。



2002年春場所初土俵。馬力を生かした攻めを武器に、貴乃花に次いで史上2番目に若い17歳9カ月で新十両に昇進するなど、スピード出世を果たした。その後は足踏みし、11年九州場所後に大関昇進。17年初場所初優勝し、日本出身で19年ぶりの新横綱となった。

続く春場所で左上腕などを痛めながら強行出場し、劇的に2度目の優勝。だが、けがの影響が残って故障が相次ぎ、力強さは戻らなかった。

初場所3日目、寄り切りで栃煌山に敗れ、土俵下でぼうぜんとする横綱稀勢の里＝15日、両国国技館